

Studio Manager V2 インストールガイド

DM 2000 /
DIGITAL PRODUCTION CONSOLE

O2R96 /
DIGITAL MIXING CONSOLE

DM 1000 /
DIGITAL PRODUCTION CONSOLE

O1V96 /
DIGITAL MIXING CONSOLE

Version 2

ご注意

- ・ このソフトウェアおよび取扱説明書の著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- ・ 巻末にこのソフトウェアのご使用条件が記載されています。このソフトウェアをインストールする前に、必ずこのご使用条件をお読みください。ディスクの包装を解かれた場合は、このソフトウェアのご使用条件に同意したことになります。
- ・ このソフトウェアおよび取扱説明書の一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・ 市販の音楽データは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- ・ このソフトウェアおよび取扱説明書を運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ このソフトウェアのCD-ROM は、オーディオ用ではありません。一般のオーディオ用CDプレーヤーでは絶対に使用しないでください。
- ・ この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、最終仕様と異なる場合がありますのでご了承ください。
- ・ アプリケーションのバージョンアップなどに伴うシステムソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更については、別紙または別冊で対応させていただきます。
- ・ OMSはOpcode Systems, Inc.の商標です。
- ・ SmartMedia(スマートメディア)は(株)東芝の商標です。
- ・ 「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- ・ その他記載の社名および製品名は、各社の商標および登録商標です。

YAMAHAプロオーディオホームページ:
<http://proaudio.yamaha.co.jp/>

仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

目次

操作の前に.....	2
はじめに.....	2
CD-ROM の内容.....	2
Windows の動作環境条件.....	4
Macintosh の動作環境条件.....	4
本体とコンピューターの接続.....	5
本体の設定.....	5
USB 接続の注意.....	5
Windows へのインストール.....	5
Adobe Reader のインストール.....	5
USB MIDI ドライバーのインストール.....	5
ヤマハ CBX ドライバーのインストール (DM2000/ O2R96 のみ).....	8
エディターのインストール.....	8
Studio Manager のインストール.....	8
Card Filer のインストール (DM2000 のみ).....	8
Macintosh へのインストール.....	9
Adobe Reader のインストール.....	9
OMS (Open Music System) のインストール.....	9
USB MIDI ドライバーのインストール.....	9
エディターのインストール.....	11
Studio Manager のインストール.....	11
Card Filer のインストール (DM2000 のみ).....	11
OMS のセットアップ.....	11
基本操作とセットアップ.....	12
Studio Manager とは?.....	12
Studio Manager の起動と設定.....	13
トラブルシューティング.....	14
ソフトウェアのご使用条件.....	15

操作の前に

はじめに

ヤマハ Studio Manager を使用して、Windows または Macintosh コンピューターからお使いのコンソール(以下、本体)をコントロールできます。

このインストールガイドでは Studio Manager や Windows/Macintosh コンピューターに必要なドライバーのそれぞれのインストール方法を説明します。Studio Manager や各エディターの操作については、Studio Manager をインストールすると一緒にインストールされる PDF 形式の Studio Manager 取扱説明書および各エディターの取扱説明書をお読みください。本体の操作方法は各本体の取扱説明書をお読みください。

CD-ROM の内容

DM2000/02R96 に付属の CD-ROM

	フォルダ名	ソフトウェア	内容
Windows	SM_¥DM2K_	DM2000 Editor (*1)	DM2000 Editor for Studio Manager (Windows 2000/XP 用)
	SM_¥02R96_	02R96 Editor (*1)	02R96 Editor for Studio Manager (Windows 2000/XP 用)
	SM_¥SM2_	Studio Manager (*1)	ヤマハ Studio Manager (Windows 2000/XP 用)
	Mididrv_	YAMAHA CBX Driver	ヤマハシリアルドライバー (PC とシリアル接続する場合に必要)
	USBdrv_	YAMAHA USB MIDI Driver (Windows 98, Me)	ヤマハ USB ドライバー (PC と USB 接続する場合に必要)
	USBdrv2k_	YAMAHA USB MIDI Driver (Windows 2000, XP)	
	Card_	Card Filer (*1)	DM2000 のスマートメディアに保存されているデータを転送、管理するためのヤマハユーティリティプログラム
Macintosh	Mac OS X ¥SM_¥DM2K_	DM2000 Editor (*1)	DM2000 Editor for Studio Manager (Mac OS X 用)
	Mac OS X ¥SM_¥02R96_	02R96 Editor (*1)	02R96 Editor for Studio Manager (Mac OS X 用)
	Mac OS X ¥SM_¥SM2_	Studio Manager (*1)	ヤマハ Studio Manager (Mac OS X 用)
	Mac OS 9 ¥OMS_	Open Music System (OMS) 2.3.8 (*1), (*2)	Mac 上で MIDI アプリケーションを使用するための、Opcode ドライバーソフトウェア (Mac OS 9 以下用)
		YAMAHA OMS Setup	DM2000、02R96 で使用するための OMS スタジオセットアップファイル (Mac OS 9 以下用)
	Mac OS 9 ¥USBdrv_	YAMAHA USB MIDI Driver	ヤマハ USB ドライバー (Mac と USB 接続する場合に必要)
	Mac OS X ¥USBdrv_	YAMAHA USB MIDI Driver for OS X	ヤマハ USB ドライバー (Mac と USB 接続する場合に必要)
Mac OS 9 ¥Card_	Card Filer (*1)	DM2000 のスマートメディアに保存されているデータを転送、管理するためのヤマハユーティリティプログラム (Mac OS 9 以下用)	

1. アプリケーションの使用法については、インストール後に PDF マニュアルをご参照ください。
2. ヤマハはこのソフトウェアをサポートしていません。

DM1000/01V96に付属のCD-ROM

	フォルダ名	ソフトウェア	内容
Windows	SM_¥DM1000_	DM1000 Editor ^(*1)	DM1000 Editor for Studio Manager (Windows 2000/XP 用)
	SM_¥01V96_	01V96 Editor ^(*1)	01V96 Editor for Studio Manager (Windows 2000/XP 用)
	SM_¥SM2_	Studio Manager ^(*1)	ヤマハ Studio Manager (Windows 2000/XP 用)
	USBdrv_	YAMAHA USB MIDI Driver (Windows 98, Me)	ヤマハ USB ドライバー (PC と USB 接続する場合に必要)
	USBdrv2k_	YAMAHA USB MIDI Driver (Windows 2000, XP)	
Macintosh	Mac OS X ¥SM_¥DM1000_	DM1000 Editor ^(*1)	DM1000 Editor for Studio Manager (Mac OS X 用)
	Mac OS X ¥SM_¥01V96_	01V96 Editor ^(*1)	01V96 Editor for Studio Manager (Mac OS X 用)
	Mac OS X¥SM_¥SM2_	Studio Manager ^(*1)	ヤマハ Studio Manager (Mac OS X 用)
	Mac OS 9 ¥OMS_	Open Music System (OMS) 2.3.8 ^(*1) , ^(*2)	Mac 上で MIDI アプリケーションを使用するための、Opcode ドライ バーソフトウェア (Mac OS 9 以下用)
		YAMAHA OMS Setup	DM1000、01V96 で使用するためのOMS スタジオセットアップ ファイル (Mac OS 9 以下用)
	Mac OS 9 ¥USBdrv_	YAMAHA USB MIDI Driver	ヤマハ USB ドライバー (Mac と USB 接続する場合に必要)
Mac OS X ¥USBdrv_	YAMAHA USB MIDI Driver for OS X	ヤマハ USB ドライバー (Mac と USB 接続する場合に必要)	

1. アプリケーションの使用方法については、インストール後にPDFマニュアルをご参照ください。
2. ヤマハはこのソフトウェアをサポートしていません。

Windowsの動作環境条件

お使いのオペレーティングシステムによって、動作環境条件が以下とは異なる場合があります。

Studio Manager

コンピューター	800 MHz 以上の Intel Pentium または Celeron 系プロセッサ搭載の PC
OS	Windows 2000, XP Home Edition, XP Professional
メモリー	256 MB 以上
ハードディスク	30 MB 以上の空き容量
MIDI ドライバー	USB/MIDI/ シリアル /mLAN のどれかひとつ (本体とコンピューターの接続方法による)
ディスプレイ	1024 × 768 ピクセル、256 色以上 1280 × 1024, High Color 16 ビット推奨 (ディスプレイ解像度設定が 1024 × 768 の場合、 [スタート→設定→タスクバーとスタートメニューのプロパティ] でタスクバーの「自動的に隠す」をオンにしてください。)

Card Filer(DM2000のみ)

コンピューター	100 MHz 以上の Intel Pentium または Celeron 系プロセッサ搭載の PC
OS	Windows 95, 98, 98SE, Me, NT4.0, 2000, XP Home Edition, XP Professional
メモリー	8 MB 以上
ハードディスク	2 MB 以上の空き容量
ディスプレイ	800 × 600 ピクセル、256 色以上

Yamaha USB MIDI Driver

コンピューター	166 MHz 以上の Intel Pentium または Celeron 系プロセッサと USB 端子搭載の PC
OS	Windows 98, 98SE, Me, 2000, XP Home Edition, XP Professional
メモリー	32 MB 以上
ハードディスク	2 MB 以上の空き容量

Yamaha CBX Driver(DM2000/02R96のみ)

OS	Windows 95, 98, 98SE, Me, NT4.0, 2000, XP Home Edition, XP Professional
----	---

上記に記載のない動作環境条件はCD-ROM上のファイルをご参照ください。

各ソフトウェアおよびドライバーの最新バージョン、および動作環境については、下記URLに最新情報が掲載されています。

<http://proaudio.yamaha.co.jp/>

Macintoshの動作環境条件

お使いのオペレーティングシステムによって、動作環境条件が以下とは異なる場合があります。

Studio Manager

コンピューター	Macintosh G4 以上、USB 端子搭載
OS	Mac OS X v10.2 以上
メモリー	512 MB 以上の空きメモリー
ハードディスク	30 MB 以上の空き容量
ディスプレイ	1024 × 768 ピクセル、256 色以上 1280 × 1024, 32,000 色推奨
MIDI ドライバー	USB/MIDI/ シリアル /mLAN のどれかひとつ (本体とコンピューターの接続方法による)

Card Filer(DM2000のみ)

コンピューター	PowerPC 以上のプロセッサ搭載の Macintosh コンピューター
OS	Mac OS 7.5 ~ 9.2.2 (Mac OS X は対応していません)
メモリー	8 MB 以上の空きメモリー
ハードディスク	6 MB 以上
ディスプレイ	800 × 600 ピクセル、256 色以上

ヤマハUSB MIDIドライバー

コンピューター	PowerPC 以上のプロセッサ、USB 端子搭載の Macintosh コンピューター
OS	Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 (Mac OS X は対応していません)
メモリー	64 MB 以上 (推奨: 128 MB 以上)
ハードディスク	2 MB 以上

ヤマハUSB MIDIドライバー for OS X

コンピューター	PowerPC 以上のプロセッサ、USB 端子搭載の Macintosh コンピューター
OS	Mac OS 10.2 以上
メモリー	64 MB 以上 (推奨: 128 MB 以上)
ハードディスク	2 MB 以上

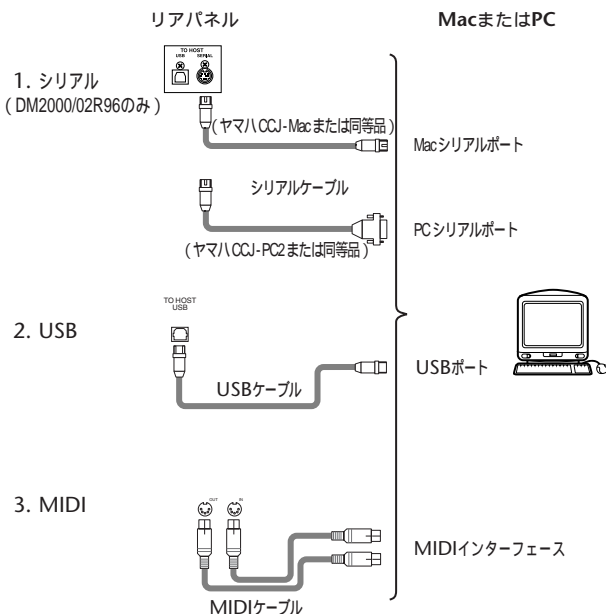
上記に記載のない動作環境条件はCD-ROM上のファイルをご参照ください。

各ソフトウェアおよびドライバーの最新バージョン、および動作環境については、下記URLに最新情報が掲載されています。

<http://proaudio.yamaha.co.jp/>

本体とコンピューターの接続

以下の図は、本体とコンピューターを接続する3つの方法(シリアル、USB、MIDI)を示したものです。



ノート: シリアルポートまたはMIDIポートに接続する前に、本体とコンピューターの電源を必ず切ってください。

本体の設定

本体画面上で、DISPLAY ACCESS [SETUP] キーを使ってMIDI/TO HOST Setupページを表示させます。「Studio Manager」パラメーターでポートを選択し、本体のIDを指定します。DM2000/02R96をシリアル接続する場合は、TO HOST SERIALも必要に応じて設定します。(例: Windowsなら「PC-2」、Macintoshなら「Mac」)。

注意: Windowsコンピューターをシリアル接続しているときは、TO HOST SERIALの設定を絶対に「Mac」にしないでください。コンピューターが破損する場合があります。

USB接続の注意

USB TO HOST端子でコンピューターと接続するときは、以下のことを行ってください。以下のことを行わないと、コンピューターや本体が停止(ハングアップ)して、データが壊れたり、失われたりするおそれがあります。コンピューターや本体が停止したときは、電源を入れ直し、コンピューターを再起動してください。

- ・ USB TO HOST端子でコンピューターと接続する前に、コンピューターの省電力(サスペンド/スリープ/スタンバイ/休止)モードを解除してください。
- ・ 本体の電源を入れる前に、USB TO HOST端子とコンピューターを接続してください。
- ・ 本体の電源オン/オフやUSBケーブルの抜き差しをする前に、すべてのアプリケーションプログラム(Studio Managerなど)を終了させてください。
- ・ 本体の電源オン/オフやUSBケーブルの抜き差しは、3秒以上間隔を空けて行ってください。

Windowsへのインストール

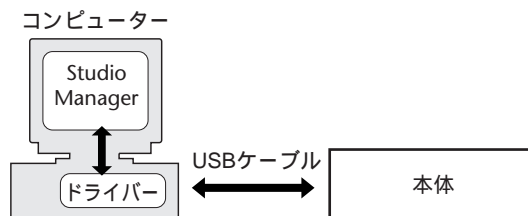
Adobe Readerのインストール

PDF形式のStudio Manager取扱説明書および各エディターの取扱説明書をご覧になるには、コンピューターにAdobe Reader(無償)がインストールされている必要があります。Adobe Readerをお持ちでない方は、下記URLからAdobe社のページを開き、Adobe Readerをダウンロードしてください。

<http://www.adobe.co.jp>

USB MIDIドライバーのインストール

本体とコンピューターをUSB接続で使用する場合は、ヤマハUSBドライバーをインストールする必要があります。このドライバーがすでにインストールされている場合は、次のセクションに進んでください。



USBドライバーのインストール手順は、お使いのWindowsのバージョンによって異なります。

- ・ Windows 98 & 98SE :6ページ参照
- ・ Windows Me:7ページ参照
- ・ Windows 2000:7ページ参照
- ・ Windows XP :8ページ参照

ノート: Studio ManagerはWindows 2000/XPにのみ対応しています。Windows 98/98SE/Me用のドライバーは、他のMIDIアプリケーションを使う場合にインストールしてください。

Windows 98 & 98SE

- 1 コンピューターの電源を入れWindowsを起動してから、付属のCD-ROMをコンピューターのCD-ROMドライブに挿入します。
- 2 本体の電源を切り、USBケーブルを使って本体のUSB TO HOST端子と、コンピューターのUSB端子を接続します。
- 3 本体の電源を入れます。
「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。表示されない場合は、USBケーブルを一度外してからもう一度接続してください。または、「新しいハードウェアの追加」コントロールパネルを開きます。



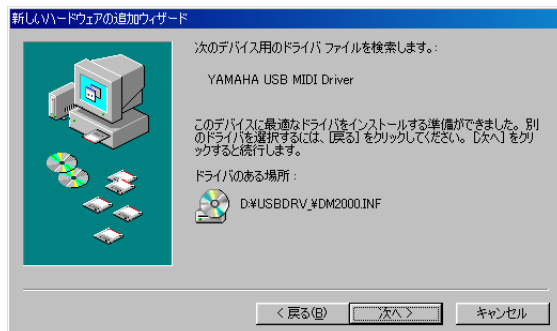
- 4 [次へ] をクリックします。
以下の画面が表示されます。



- 5 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、[次へ] をクリックします。
以下の画面が表示されます。



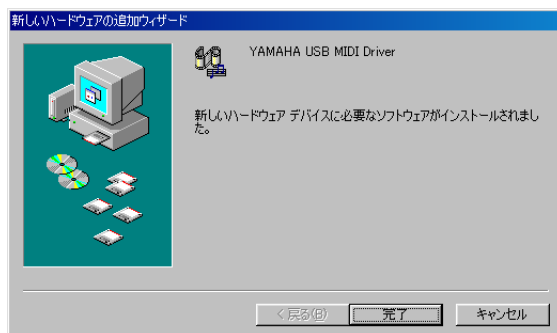
- 6 「検索場所の指定」を選択し「D:\USBdrv_」(D:は、お使いのCD-ROMドライブのアルファベットに置き換えてください)を指定してから[次へ] をクリックします。
ドライバーが見つかったと、以下のように「YAMAHA USB MIDI Driver」と表示されます。



- 7 [次へ] をクリックします。

ノート: Windows CD-ROMの挿入を求める表示が現れる場合がありますが、CD-ROMを挿入しないでください!
[OK] をクリックし、読み込み先を「D:\USBdrv_」(D:は、お使いのCD-ROMドライブのアルファベットに置き換えてください)と入力し、[OK] をクリックしてください。

ドライバーがインストールされ、完了すると次の画面が表示されます。



- 8 [完了] をクリックし、コンピューターを再起動します。

Windows Me

- 1 コンピューターの電源を入れWindowsを起動してから、付属のCD-ROMをコンピューターのCD-ROMドライブに挿入します。
- 2 本体の電源を切り、USBケーブルを使って本体のUSB TO HOST端子と、コンピューターのUSB端子を接続します。
- 3 本体の電源を入れます。
「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。表示されない場合は、USBケーブルを一度外してからもう一度接続してください。または、「新しいハードウェアの追加」コントロールパネルを開けます。



- 4 「適切なドライバを自動的に検索する(推奨)」を選択し「次へ」をクリックします。
ドライバーのある場所が自動検出されたら、手順5に進んでください。ドライバーが見つからない場合は、「ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)」を選択して「次へ」をクリックし、お使いのCD-ROMドライブの「USBdrv_」フォルダ(例: D:\USBdrv_)を指定してから指示に従います。
インストールが完了すると以下の画面が表示されます。



- 5 「完了」をクリックし、コンピューターを再起動します。

Windows 2000

- 1 コンピューターの電源を入れてWindowsを起動し、Administrator権限のあるアカウントでログインします。
- 2 付属のCD-ROMをコンピューターのCD-ROMドライブに挿入します。
- 3 [マイコンピュータ]→[コントロールパネル]→[システム]→[ハードウェア]→[ドライバの署名]→[ファイルの署名の確認]と選択し、「無視 - ファイルの署名に関係なく、すべてのファイルをインストールする」を選択して「OK」をクリックします。
- 4 本体の電源を切り、USBケーブルを使って本体のUSB TO HOST端子と、コンピューターのUSB端子を接続します。
- 5 本体の電源を入れます。
「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示されます。
- 6 「次へ」をクリックします。
- 7 「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 8 続いて表示される画面で「CD-ROMドライブ」のみを選択し、「次へ」をクリックします。

ノート: Windows CD-ROMの挿入を求める表示が現れる場合がありますが、CD-ROMを挿入しないでください!!
[OK]をクリックし、読み込み先を「D:\USBdrv2k_」(D:は、お使いのCD-ROMドライブのアルファベットに置き換えてください)と入力し、[OK]をクリックしてください。

ドライバーがインストールされ、「新しいハードウェアの検出ウィザードの完了」というメッセージが表示されます。

- 9 「完了」をクリックし、コンピューターを再起動します。

Windows XP

- 1 コンピューターの電源を入れてWindowsを起動し、Administrator権限のあるアカウントでログインします。
- 2 付属のCD-ROMをコンピューターのCD-ROMドライブに挿入します。
- 3 [スタート] をクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。
以下の画面が表示されます。



- 4 画面左の欄にある「クラシック表示に切り替える」をクリックして、コントロールパネルをすべて表示させます。
- 5 [システム]→[ハードウェア]→[ドライバの署名]→[ドライバ署名オプション]と選択し、「無視 - ソフトウェアをインストールし、確認を求めない(I)」を選択してから[OK] をクリックします。
- 6 [OK] をクリックしてシステムのプロパティ画面を閉じ、[×] をクリックしてコントロールパネル画面を閉じます。
- 7 本体の電源を切り、USBケーブルを使って本体のUSB TO HOST端子と、コンピューターのUSB端子を接続します。
- 8 本体の電源を入れます。
「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されます。
- 9 「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)(I)」を選択し、[次へ] をクリックします。
ドライバがインストールされ、「新しいハードウェアの検出ウィザードの完了」というメッセージが表示されます。
- 10 [完了] をクリックし、コンピューターを再起動します。

ヤマハ CBXドライバーのインストール (DM2000/02R96のみ)

本体とコンピューターをシリアル接続で使用する場合は、ヤマハ CBXドライバーをインストールする必要があります。このドライバーがすでにインストールされている場合は、次のセクションに進んでください。

- 1 CD-ROM上の「Mididrv_」フォルダをダブルクリックします。
- 2 「Setup.exe」をダブルクリックします。
- 3 画面の指示に従ってドライバーをインストールします。

エディターのインストール

Studio Managerをインストールする場合は、お使いの本体に対応するエディターもインストールします。

- 1 CD-ROM上の「SM_」フォルダをダブルクリックします。
- 2 お使いの本体に対応するフォルダ(DM2000の場合は「DM2K_」フォルダ)をダブルクリックします。
- 3 「Setup.exe」をダブルクリックします。
- 4 画面の指示に従ってお使いの本体に対応するエディターをインストールします。

Studio Managerのインストール

エディターをインストールした場合は、Studio Managerもインストールしてください。

ノート: 別の機器用のStudio Managerとエディターをインストールする場合、古いバージョンのStudio Managerがインストールされてしまっ
て正しく動作しなくなることがあります。その場合は、Studio Manager
のみをこのCD-ROM(またはヤマハのウェブサイトにある最新版)から
インストールし直してください。

- 1 CD-ROM上の「SM_」フォルダをダブルクリックします。
- 2 「SM2_」フォルダをダブルクリックします。
- 3 「Setup.exe」をダブルクリックします。
- 4 画面の指示に従ってStudio Managerをインストールします。

Card Filerのインストール(DM2000のみ)

- 1 CD-ROM上の「Card_」フォルダをダブルクリックします。
- 2 「Setup.exe」をダブルクリックします。
- 3 画面の指示に従ってソフトウェアをインストールします。
Card Filerの操作方法は、Card Filerと同じフォルダにインストールされている「カードファイラーマニュアル」をお読みください。

Macintoshへのインストール

Adobe Readerのインストール

ノート: Mac OS Xをお使いの場合、Adobe Readerは必要ありません。

Mac OS 9以前の環境で、PDF形式のCard Filer取扱説明書をご覧になるには、コンピューターにAdobe Reader(無償)がインストールされている必要があります。Adobe Readerをお持ちでない方は、下記URLからAdobe社のページを開き、Adobe Readerをダウンロードしてください。

<http://www.adobe.co.jp>

OMS (Open Music System)のインストール

ノート: Studio Managerだけを使用する場合OMSのインストールは不要です。OMSはStudio Manager以外のMIDIアプリケーションを使う場合にインストールしてください。

Mac OS 9以前の環境でMIDIアプリケーションを使用するためにOMS 2.3.3以上が必要です。付属のCD-ROMにはOMS 2.3.8が含まれています。このソフトウェアがすでにインストールされている場合は、次のセクションに進んでください。

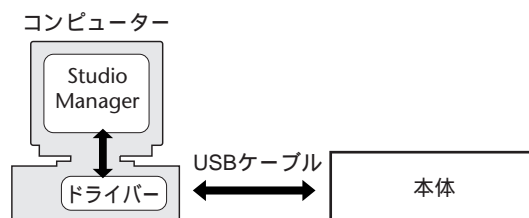
- 1 コンピューターを起動し、付属のCD-ROMをコンピューターのCD-ROMドライブに挿入します。
- 2 CD-ROM上の「Mac OS 9」フォルダをダブルクリックします。
- 3 「OMS_」フォルダをダブルクリックします。
- 4 「Install OMS 2.3.8」をダブルクリックします。
- 5 画面の指示に従ってソフトウェアをインストールします。
- 6 インストールが完了したら「Restart」をクリックします。

ノート: インストールが完了すると、「アプリケーションを終了することができませんでした」というエラーメッセージが表示されることがあります。その場合は「File」メニューから「Quit」を選択してインストーラを終了させ、コンピューターを再起動してください。

- 7 CD-ROM上の「OMS_」フォルダから、「OMS_2.3J_Manual.pdf」ファイルをハードディスクの「Opcode:OMSアプリケーション」フォルダにコピーします。「OMS_2.3J_Manual.pdf」は日本語版OMSのマニュアルです。本CD-ROMには、英語版OMSの最新版(2.3.8)が収録されています。必要に応じて、英語版のマニュアル「OMS_2.3_Mac.pdf」もご参照いただけます。

USB MIDIドライバーのインストール

本体とコンピューターをUSB接続で使用する場合は、ヤマハUSBドライバーをインストールする必要があります。このドライバーがすでにインストールされている場合は、次のセクションに進んでください。



USBドライバーのインストール手順は、お使いのMacintoshのバージョンによって異なります。

- ・ Mac OS 8.6～9.2.2: 下記参照
- ・ Mac OS X: 10ページ参照

Mac OS 8.6～9.2.2

ノート: このUSB MIDIドライバーはStudio Manager以外のMIDIアプリケーション用です。Studio ManagerはMac OS X v10.2未満には対応していませんので、Studio Managerを使用する場合はMac OS X用のUSB MIDIドライバーをご使用ください。

- 1 CD-ROM上の「Mac OS 9」フォルダをダブルクリックします。
- 2 「USBdrv_」フォルダをダブルクリックします。
- 3 「Install USB MIDI Driver」をダブルクリックします。以下の「Install USB MIDI Driver」画面が表示されます。



初期設定ではインストールの場所として起動ディスクが選択されるので、特に指定する必要はありませんが、別のディスクを指定したい場合は、「Switch Disk」をクリックします。

プルダウンメニューからフォルダを選択することもできますが、ファイルがインストールされるのは指定ディスクのシステムフォルダ内なので、フォルダを選択する必要はありません。

- 4 「Install」をクリックし、画面の指示に従ってソフトウェアをインストールします。
- 5 インストールが完了したら「Restart」をクリックします。

Mac OS X

ノート: インストールの前にキーボードとマウス以外のUSB機器はコンピュータから外しておいてください。

- 1 コンピューターを起動して、管理者権限のあるユーザーアカウントでログインします。
管理者権限があるかどうかは、「システム環境設定」の「ユーザー(アカウント)」項目で確認できます。
- 2 CD-ROM上の「Mac OS X」フォルダをダブルクリックします。
- 3 「USBdrv_」フォルダをダブルクリックします。
- 4 「USB-MIDI Driver v1.*****.mpkg」(*****にはバージョン番号が入ります)をダブルクリックします。
パスワードの入力を求める「認証」ウィンドウが表示されます。
パスワードを聞かれない場合は、カギのアイコンをクリックします。



- 5 管理者権限を持つユーザーのパスワードを入力します。パスワードを設定していない場合はそのまま「OK」をクリックします。
「ようこそYAMAHA USB MIDI Driver インストールへ」と表示されます。



- 6 [続ける] をクリックします。
「インストール先を選択」と表示されます。



- 7 ドライバーのインストール先を選択し、[続ける] をクリックします。
「インストールには、約100MBのディスク容量が必要です。」と表示される場合がありますが、実際に必要なディスク容量は、4ページにあるとおりです。
- 8 「インストール」をクリックして、このソフトウェアパッケージの基本インストールを行います」と表示されますので、[インストール] ボタンをクリックします。
既にインストールされている場合、[インストール] ボタンは、[アップグレード] ボタンになります。
インストールが終わると、「ソフトウェアが正常にインストールされました」と表示されます。



- 9 [閉じる] ボタンをクリックします。
これで、ドライバーのインストールは完了しました。
また、以下の場所にドライバーがインストールされているのを確認することができます。
 - ・「ライブラリ(Library)」:「Audio」:「MIDI Drivers」:
「YAMAHA-USBMIDI Driver.plugin」
 - ・「ライブラリ(Library)」:「PreferencePanels」:
「YAMAHA-USBMIDI Patch.prefPane」

エディターのインストール

Studio Managerをインストールする場合は、お使いの本体に対応するエディターもインストールします。

- 1 CD-ROM上の「Mac OS X」フォルダをダブルクリックします。
- 2 「SM_」フォルダをダブルクリックします。
- 3 お使いの本体に対応するフォルダ(DM2000の場合は「DM2K_」フォルダ)をダブルクリックします。
- 4 「Install xxxxx_Editor (xxxxxには本体名が入ります)をダブルクリックします。
- 5 画面の指示に従ってお使いの本体に対応するエディターをインストールします。

Studio Managerのインストール

エディターをインストールした場合は、Studio Managerもインストールしてください。

ノート: 別の機器用のStudio Managerとエディターをインストールする場合、古いバージョンのStudio Managerがインストールされてしまっ
て正しく動作しなくなることがあります。その場合は、Studio Manager
のみをこのCD-ROM(またはヤマハのウェブサイトにある最新版)から
インストールし直してください。

- 1 CD-ROM上の「Mac OS X」フォルダをダブルクリックします。
- 2 「SM_」フォルダをダブルクリックします。
- 3 「SM2_」フォルダをダブルクリックします。
- 4 「Install Studio Manager」をダブルクリックします。
- 5 画面の指示に従ってStudio Managerをインストールします。

Card Filerのインストール(DM2000のみ)

- 1 CD-ROM上の「Mac OS 9」フォルダをダブルクリックします。
- 2 CD-ROM上の「Card_」フォルダをダブルクリックします。
- 3 「Install Card Filer」をダブルクリックします。
- 4 画面の指示に従ってソフトウェアをインストールします。
Card Filerの操作方法は、Card Filerと同じフォルダにインストールされている「カードファイラーマニュアル」をお読みください。

OMSのセットアップ

付属のCD-ROM上にある「OMS Setup for YAMAHA」フォルダには、本体が使用するOMSスタジオセットアップファイルが入っています。

- 1 本体の電源を切り、USBケーブルを使って本体のUSB TO HOST端子と、コンピューターのUSB端子を接続します。
SERIAL TO HOST端子へ接続する場合は、シリアルケーブルでコンピューターのプリンターまたはモデムポートに接続してください。
- 2 本体の電源を入れます。
- 3 コンピューターを起動し、付属のCD-ROMをコンピューターのCD-ROMドライブに挿入します。
- 4 CD-ROM上の「Mac OS 9」フォルダをダブルクリックします。
- 5 「OMS_」フォルダをダブルクリックします。
- 6 「OMS Setup for YAMAHA」フォルダをダブルクリックします。
このフォルダには次のOMSスタジオセットアップファイルが入っています。
 - ・ ****-USB
 - ・ ****-Modem
 - ・ ****-Printer(****にはモデル名が入ります)
- 7 必要なファイルをコンピューターのハードディスクにコピーし、ダブルクリックします。

ノート: ここでAppleTalkダイアログが表示される場合は[Turn It Off]をクリックし、次のダイアログで[OK]をクリックします。

OMS セットアップが開始され、スタジオセットアップファイル画面が表示されます。

- 8 「File」メニューから「Make Current」を選択してセットアップを保存します。

ノート: 本体をモデムまたはプリンターポートに接続している場合は、「Edit」メニューの「Preferences」で「Use Apple SerialDMA driver when available」を選択してください。

上記のセットアップが終了すると、現在のOMSスタジオセットアップでは本体が唯一のMIDI機器となります。他のMIDI機器を使用したり、もう一台別の本体を追加するには、新規スタジオセットアップを作成してください。詳細は、「OMS_2.3J_Manual.pdf」ファイルをご参照ください。

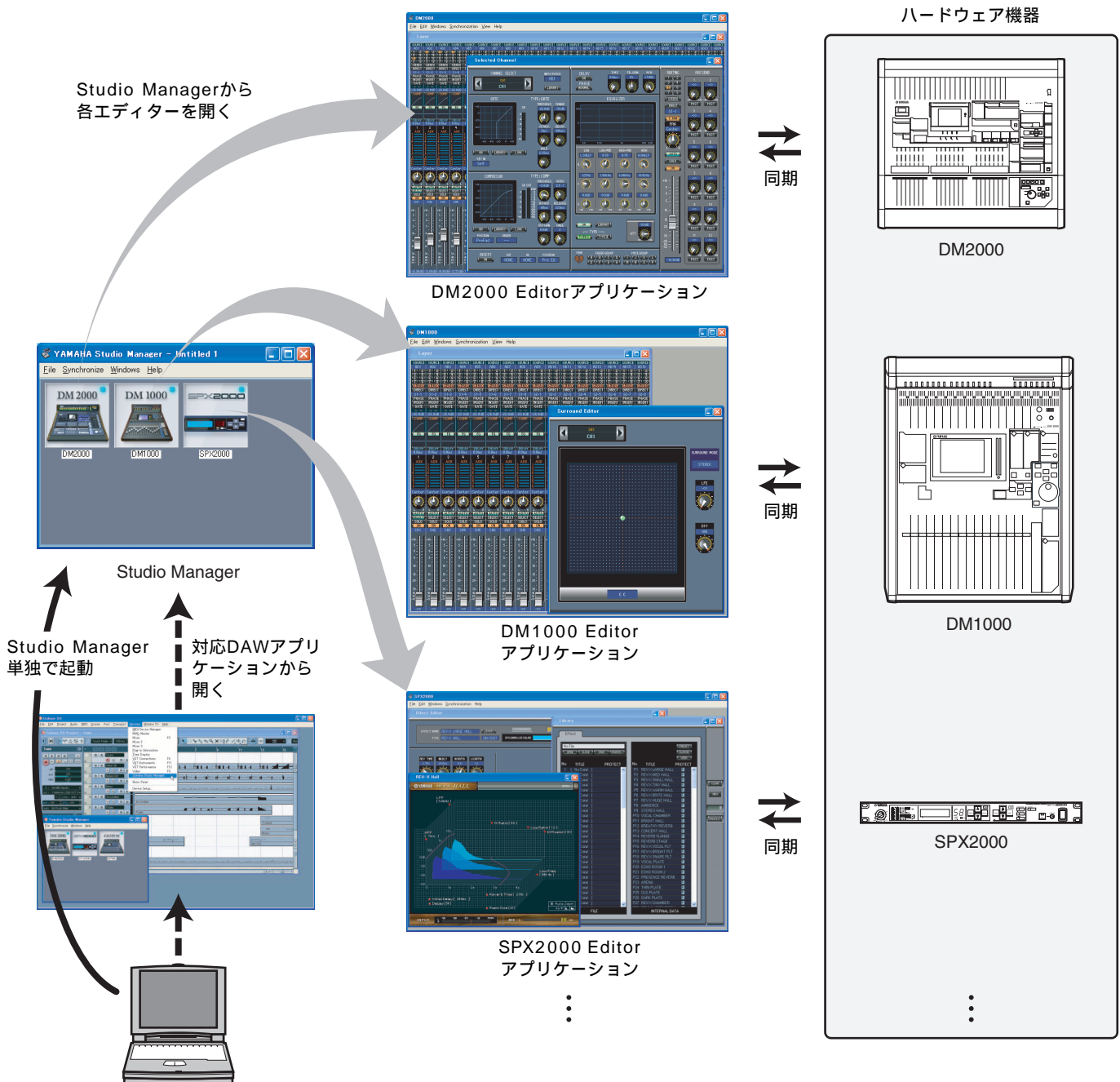
基本操作とセットアップ

Studio Managerとは？

Studio Managerは、ヤマハのハードウェア製品をリモートコントロールする複数のエディターソフトウェアを起動させたり、複数のエディター設定を保存したりする共通のプラットフォームです。

Studio Managerは、単独のアプリケーションとして起動したり、Cubase SX 3.0以降などの対応DAWアプリケーションでプラグインとして使用したりすることができます。どちらの方法でも、基本的な機能は同じです。対応DAWアプリケーションについての最新情報は、ウェブサイトをご参照ください。

<http://www.studioconnections.org/>



各エディターの設定は、Studio ManagerまたはDAWアプリケーションでまとめて保存/呼び出しできます。すなわち、複数の機器の設定を StudioManagerまたはDAWアプリケーションからまとめて呼び出す(リコール)ことにより、システム全体の設定を簡単な操作で変更することができます。

また、設定ファイルを保存する場合、Studio Managerから操作すれば複数の機器をまとめてリコール、各エディターで操作すればその機器だけをリコール、と使い分けることもできます。DAW アプリケーションで設定を保存すれば、DAWアプリケーションのファイルの中にStudio Managerの設定もまとめて保存し、リコールすることもできます。

Studio Managerを使用するためには以下の操作が必要です。

「Studio Managerの起動と設定(下記参照)」「エディターの起動と設定」「本体との同期」

エディターの操作については、各エディターの取扱説明書をご参照ください。

Studio Managerの起動と設定

Studio Managerで各エディターを使用するためには、以下のセットアップが必要です。

1 Studio Managerを起動します。

Windows 2000/XPから単独で起動: [スタート]ボタンをクリックした後、[プログラム(すべてのプログラム)] [YAMAHA Studio Manager]の順にマウスカーソルを合わせ、[Studio Manager]をクリックします。

MacOS Xから単独で起動: 「Applications」「YAMAHA」「Studio Manager」の順にフォルダを開き、「SM2」をダブルクリックします。

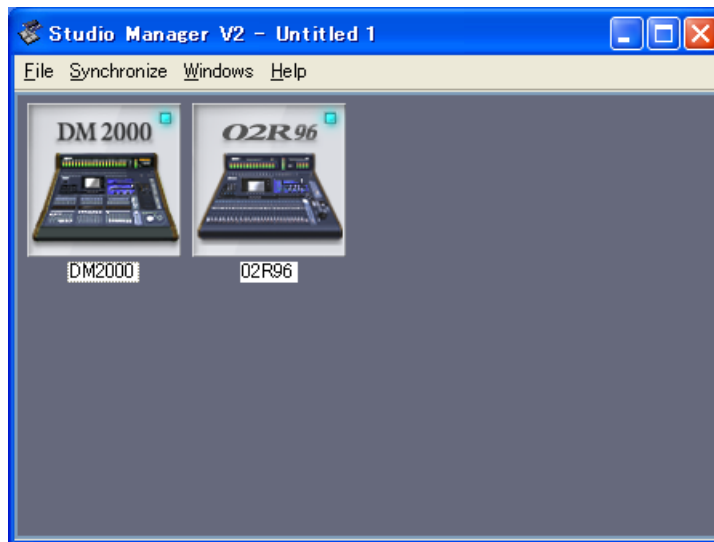
Cubase SXで使用: Cubase SXの [デバイス]メニューから [Yamaha Studio Manager] を選択して、Studio Managerウィンドウを開きます(Cubase SX起動時にStudio Managerも起動しています)。

2 Studio Managerのセットアップを行ないます。

詳しくはPDF形式のStudio Manager取扱説明書をご参照ください。

3 各エディターを起動します。

Studio Managerウィンドウで各エディターに対応するアイコンをダブルクリックしてください。



Studio Managerウィンドウ

4 各エディターのセットアップを行ないます。

詳しくはPDF形式の各エディター取扱説明書をご参照ください。

5 各エディターと機器を同期させます。

詳しくはPDF形式の各エディター取扱説明書をご参照ください。

トラブルシューティング

Q: Studio Managerをインストールできない

A: Studio Managerの動作環境をご確認ください(Windows 4 ページ、Macintosh 4ページ)。
動作環境に対応していないOSの場合は、インストールできないようになっています。

Q: 本体とUSBで通信できない

- A: ヤマハUSB MIDIドライバーがインストールされていますか?(Windows 5ページ、Mac 9ページ)
- A: USBケーブルが正しく接続されていますか?(5ページ)
- A: 本体が正しく設定されていますか?(5ページ)
- A: 各エディターが正しいIDに設定されていますか?(各エディターの取扱説明書)
- A: 本体とコンピューターの間にはUSBハブがある場合は、本体とコンピューターを直接つないでください
- A: Mac OS 9以下: OMSが正しく設定されていますか?(11ページ)
- システムによっては付属のOMSスタジオセットアップファイルが正しく働かないことがあります。その場合は新規のスタジオセットアップを作成してください。詳細は、「OMS_2.3J_Manual.pdf」をご参照ください。

Q: ヤマハUSB MID ドライバーをインストールできない

- A: USBケーブルが正しく接続されていますか?(5ページ)
- A: USBケーブルを一度外してからまた接続してみてください。
- A: Windows: USBが有効になっていますか?
本体を初めてコンピューターに接続した場合、「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されないときは、コンピューターのUSBコントロールが無効になっていることがあります。これを確認するには、「システム」コントロールパネルを開き、「デバイスマネージャ」タブをクリックして、「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」と「USBルートハブ」の項目の先頭に「x」印または「！」印が表示されているかをチェックしてください。印があると、USBコントローラは無効になっています。USBコントローラを有効にする方法は、コンピューターの説明書をご参照ください。
- A: Windows: 何らかの理由でヤマハUSBドライバーのインストールに失敗すると、本体が「不明なデバイス」として登録され、この登録を削除するまではドライバーの再インストールができないことがあります。この場合は、「システム」コントロールパネルを開き、「デバイスマネージャ」タブをクリックして「種類別に表示」を選択します。リストに「その他のデバイス」という項目があれば、これをクリックします。その下に「不明なデバイス」という項目があれば、「削除」ボタンをクリックします。USBケーブルの接続を外し、再度接続してドライバーをもう一度インストールしてください。

Q: ヤマハUSB MIDI ドライバーをインストールした後、OMSが機能しない

A: Mac OS 9以下: ヤマハUSB MIDIドライバーはMac OS 8.6 ~ 9.2.2に対応しています。それより以前のオペレーティングシステムにインストールすると、OMSは正しく機能しません。この場合は以下の手順でヤマハUSB MIDIドライバーを削除してください。

Q: ヤマハUSB MIDI ドライバーの削除と再インストール

A: Windows 98/Me: ヤマハUSB MIDIドライバーが正しくインストールされ、本体も正しく認識されている場合は、次の手順でドライバーを削除します。「システム」コントロールパネルを開き、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。次に「YAMAHA USB MIDI Driver」を選択し「削除」ボタンをクリッ

クします。以下のファイルを削除したら、USBケーブルの接続を外し、再度接続してドライバーを再インストールします。
Windows¥Inf¥Other¥YAMAHA****.INF(****にはモデル名が入ります)

Windows¥System¥Xgusb.drv

Windows¥System¥Ymidusb.sys

A: Mac OS 9以下: 以下のファイルを削除すると、ドライバーが削除されます。削除後、コンピューターを再起動しドライバーを再インストールしてからOMSをセットアップします。
システムフォルダ:コントロールパネル:YAMAHA USB MIDI Patch

システムフォルダ:機能拡張:USB YAMAHA MIDI Diver

システムフォルダ:OMS Folder:YAMAHA USB MIDI OMS Driver

A: Mac OS X: 以下のファイルを削除すると、ドライバーが削除されます。削除後、コンピューターを再起動しドライバーを再インストールします。

~:「ライブラリ」:「Preferences」:「jp.co.yamaha.USBMIDIDriver.plist」(ドライバーロード後に作成されます)

「ライブラリ」:「Audio」:「MIDI Drivers」:「YAMAHAUSBMIDIDriver.plugin」

「ライブラリ」:「PreferencePanes」:「YAMAHAUSBMIDIPatch.prefPane」

NOTE:「~」は、ハードディスクにある「ユーザ(Users)」内の、各ユーザー用フォルダを示しています。

NOTE: ドライバーを削除することができるのはルートユーザーだけです。通常のユーザーには削除する権限がありません。

Q: 正しく動作しない

- A: 本体のシステムソフトウェアがV2.0以上になっているかチェックしてください。V2.0より前の本体とStudio Managerを組み合わせた動作は保証していません。
- A: コンピューターが応答しない場合は、システム条件を満たしているかチェックしてください(Windows 4ページ、Mac 4ページ)。
- A: 使用していないアプリケーションを終了してください。

Q: 新しいエディターをインストールしたら、別のエディターが起動しなくなった

A: Studio Managerや各エディターのバージョンの組み合わせによっては、エディターが起動できない場合があります。ウェブサイトから最新版をダウンロードして、すべてのエディターを最新版にインストールしなおしてください。
<http://proaudio.yamaha.co.jp/>

Q: 各ウィンドウを開くのに時間がかかる、描画が遅い

- A: Windows: ノート型のコンピューターをお使いの場合は、ハードウェアアクセラレータの設定をオフにすることでパフォーマンスが改善される場合があります。ただし、この設定は他のソフトウェアのパフォーマンスにも影響します。
1. [コントロールパネル] [画面]をダブルクリックして、「画面のプロパティ」を開きます。
 2. [設定]タブ [詳細設定]をクリックして、詳細設定のプロパティを開きます。
 3. [トラブルシューティング]タブを開いて、「ハードウェアアクセラレータ」を「なし」に設定します。

Q: コンピューターの休止/再開ができない

- A: Windows: MIDIアプリケーションが開いている場合、休止にはなりません。
- A: Windows 2000: USBコントローラなどによっては休止/再開が正しく機能しないものがあります。本体が応答しなくなったなら、USBケーブルの接続を一旦外し、もう一度接続してみてください。

ソフトウェアのご使用条件

弊社では本ソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、<ソフトウェア使用許諾契約>を設けさせていただいており、お客様が下記条項にご同意いただいた場合のみご使用いただけます。

本ソフトウェアのディスクの包装を解かれた場合は下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みの上開封してください。ご同意いただけない場合は、インストール、コピー、その他のご使用はおやめください。

ソフトウェア使用許諾契約

1 著作権および使用許諾

弊社はお客様に対し、ソフトウェアプログラムおよびデータファイル(以下「本ソフトウェア」といいます。)を使用する権利を許諾します。本契約条項は、今後お客様に一定の条件付きで配布され得る本ソフトウェアのバージョンアッププログラム、データファイルにも適用されるものとします。本ソフトウェアの権利およびその著作権は、弊社または弊社のライセンサーが有します。本ソフトウェアの使用によって作成されたデータの権利はお客様が取得しますが、本ソフトウェアは、関連する著作権法規のもとで保護されています。

- お客様のコンピューターにおいて使用することができます。
- バックアップが許されているものは、バックアップをとる目的でのみ、機械で読み取れる形式での本ソフトウェアのコピーを作成することができます。ただし、そのバックアップコピーには本ソフトウェアに表示されている弊社の著作権の表示や他の権利帰属についての説明文もコピーしてください。
- お客様は、本ソフトウェアを使用する権利を第三者に譲渡することができますが、それは、お客様が本ソフトウェアのコピーを保持せず、かつ譲受人が本契約条項に同意する場合に限られます。

2 使用制限

- (1) 本ソフトウェアの使用にあたっては、次のことを遵守してください。
 - 本ソフトウェアには著作権があり、その保護のため、お客様が本ソフトウェアを逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、またはその他のいかなる方法によっても、人間が感得できる形にすることは許されません。
 - 本ソフトウェアの全体または一部を複製、修正、改変、賃貸、リース、頒布または本ソフトウェアの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。
 - 本ソフトウェアをネットワークを通して別のコンピューターに伝送したり、ネットワークで他のコンピューターと共有することは許されません。
 - 本ソフトウェアを使用して、違法なデータや公序良俗に反するデータを配信することは許されません。
 - 弊社の許可無く本ソフトウェアの使用を前提としたサービスを立ち上げることは許されません。
- (2) 楽曲用MIDIデータ等、本ソフトウェアにより使用または入手できる著作権権については次のことを遵守してください。
 - 本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく営業目的で使用することは許されません。
 - 本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく複製、転送または配信したり、または不特定多数にむけて再生および演奏することは許されません。
 - 本ソフトウェアの使用によって入手できるデータの暗号を著作権者の許可無く解除したり、電子透かしを改変したりすることは許されません。

3 終了

本契約はお客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日に発効します。本契約は、お客様が著作権法または本契約条項に1つでも違反されたときは、弊社からの終了通知がなくても自動的に終了するものとします。その場合には、ただちに本ソフトウェアとそれに関するドキュメンテーション、およびそれらのコピーをすべて廃棄しなければなりません。

4 製品の保証

本ソフトウェアがディスク等の媒体で販売された場合や、ディスク等の媒体で製品に同梱された場合には、弊社は、お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から14日間に限り(お受け取りの日は、受領書の写しで証明される日とします)、媒体に物理的な欠陥があった場合には、その原因が事故、乱用、誤用など弊社の責に帰さない事由による場合を除き、無償で同種の良品と交換させていただきます。弊社はそれ以上の保証はいたしません。

5 本ソフトウェアに関する保証

本ソフトウェアのご使用についての一切のリスクはお客様のご負担となります。

本ソフトウェアの商品性、特定の目的への適合性、第三者の権利を侵害しないことの保証は明示であると黙示であるとを問わず、一切いたしません。特にお客様の目的に適合することや、ソフトウェアの操作が中断されないことやソフトウェアの欠陥や瑕疵が修正されることの保証はいたしません。

6 責任の制限

弊社の義務は、お客様に本契約条項の条件で本ソフトウェアの使用を許諾することがすべてです。

弊社は、本ソフトウェアの使用、誤用またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害(データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む)については、通常もしくはは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生の可能性について予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。すべての損害、損失、契約や違法行為等に対する訴訟申立てについて、いかなる場合も、お客様に対する弊社の責任は、お客様が本ソフトウェアの購入のために支払った金額を越えることはありません。

7 第三者のソフトウェア

弊社は、本ソフトウェアとともに、第三者のプログラム、データファイルおよびそれに関するドキュメンテーション(以下「第三者ソフトウェア」といいます)を提供する場合があります。別の規定に従い取り扱われるべき旨の記載が、本ソフトウェア付随のマニュアルに記載されている場合には、本契約条項にかかわらず、その別の規定に従い取り扱われるものとし、弊社によるアフターサービスおよび保証などについては、以下の規定が適用されるものとします。

- 弊社は、第三者ソフトウェアに関しての操作方法、瑕疵その他に関してアフターサービスを提供するものではありません。
- 弊社は、明示であると黙示であるとを問わず、第三者ソフトウェアの商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証をいたしません。第三者ソフトウェアの使用もしくは機能から生じるすべての危険は、お客様の負担となります。
- 弊社は、第三者ソフトウェアの使用、誤用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害(データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む)については、通常もしくはは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

8 一般事項

本契約条項は、弊社の権限ある者の署名のある書面によらない限り、改訂することはできません。

本契約条項は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとします。本契約に関し紛争が生じた場合には東京地方裁判所を専属管轄裁判所とします。



この取扱説明書は
大豆油インクで印刷しています。

この取扱説明書は無塩素紙 (ECF: 無塩素系漂白パルプ) を使用しています。

ヤマハマニュアルライブラリー
<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

U.R.G., Pro Audio & Digital Musical Instrument Division, Yamaha Corporation
© 2004 Yamaha Corporation
WD83460 710IPAPxx.x-0xE0
Printed in Japan